



神保 それがないんですよ。
重田 ヒルクライムは有酸素運動なので、脂肪が減って足は細くなっています。自転車はダイエットにすごく効果的なんです。
市長 それは初耳でした。
神保 私は自転車に乗り始めてから3ヶ月くらい体重が落ちましたよ。
榛名の良さを楽しめる大会に
市長 榛名山ヒルクライムでは、初心者向けのコースを作ろうと考えているんですよ。
神保 それはいいですね。ファミリーで楽しめそう。他のヒルクライムの大会では初心者コースはそんなにないですよ。この間、榛名山を試し走したときに気が付いたのですが、川のせせらぎが聞こえてきたんですよ。そういったことも榛名ならではの楽しみだと思います。
中島 榛名湖畔では、周辺のお土産店のほか、焼きそばやうどんなどのお店を出して、参加者や観戦に来た人をもてなしたいと思っています。
神保 自転車を楽しみだけでなく、家族で観光も楽しめる大会になるといいなと思います。
中島 今考えているのは、ゼッケンに金券を縫い込むことです。参加者に榛名湖畔で疲れを取ってもらいながら出店などで楽しんでもらおうという企画です。金券は市内の協力店で使えるようにします。



(7) 高崎市役所 ☎027-321-1111



富岡 賢治 市長

榛名山の魅力を全国に広めようとヒルクライムレースを企画。日本一の自転車レースを目指す。

中島 正三 さん

「榛名山ヒルクライムin高崎」大会会長・実行委員長。下室田町在住。

重田 佳子 さん

自転車の爽快感がお気に入り。ヒルクライムレースの参加経験もある。江木町在住。

神保 久美子 さん

昨年自転車を新調し、練習にますます力が入る。箕郷町富岡在住。



白転車で 榛名山の魅力を発信

市民と市長が高崎のさまざまなテーマで語り合う「ほっとTタイム」。今回のテーマは、来年5月に開催する自転車による登坂レース「榛名山ヒルクライムin高崎」です。榛名商工会長の中島正三さんと、自転車愛好家の神保久美子さん、重田佳子さんを迎え、レースに寄せる期待を伺いました。

榛名山の魅力を全国に

市長 お二人がお揃いで着ているのはユニフォームですか？
重田 私たちが所属している自転車チームのユニフォームです。
神保 背中にはハートを使って、女性らしさをイメージしたデザインにしました。
市長 色も鮮やかでいいですね。お二人が自転車を始めたきっかけは？
神保 4年ほど前ですが、当時5年生の息子が乗り始めたときに、一緒に走りたくて始めました。
市長 重田さんはご自宅で自転車店を経営されているようですが、キャリアは長いんですか？
重田 そんなに前から乗っているわけじゃないんです。始めたのは3年ほど前です。下の子どもが小学生になって少し時間ができたので。
市長 最近では、まちでも本格的な自転車に乗っている人を見かけますね。
重田 最近では健康志向の高まりや、環境に優しいということもあって、スポーツタイプの自転車で通勤する人も増えてきました。
市長 榛名山ヒルクライムを開催しようと思ったのは、自転車の良さを見直してもらおうというのはもちろんですが、高崎の宝物である榛名山をもっと全国に宣伝していきたいというのも大きな理由なんです。
中島 市長からヒルクライムレース

の話聞いたときは、榛名の活性化になるのでもっていいことだなと思いました。それで大会会長を買って出しました。

自転車ヒルクライムの魅力

神保 この間、重田さんと2人で榛名山に上ってきたんです。
市長 あの坂を？最後まで上れたんですか？
重田 はい。1時間50分ぐらいかかりました。何回か休憩しながらですけど。
市長 それはすごいですね。
神保 榛名神社から先がきついです。何とか頑張りました。
市長 女性でも榛名湖まで行けるんですね。
神保 行けます。私たちそんなにガチガチに走ってないんですけど、練習すれば上れるようになります。
市長 でも、一般にはヒルクライムって言葉はなじみがないですよね。「どうして自転車で坂を」と思う人もいると思うんです。ヒルクライムの魅力はどこにあるのでしょうか？
神保 上り終わったときの達成感が一番です。あとは季節を感じられることです。同じ道でも全然違う風景になって新しい発見があります。
重田 私も達成感が魅力だと思います。「上ったぞー」っていう。
市長 上った後は疲れでもありますがパンパンになるんじゃないですか？

神保・重田 もちろん参加します。

市長 全国から多くの人が参加して、大会が盛り上がりつつ欲しいですね。そして、榛名の良さをたくさんの人に知ってもらえたらいいです。今日はありがとうございました。
中島・神保・重田 ありがとうございます。